

第63回例会

日本語教育活動における  
政治的主体とは何か

松島 調

MATSUSHIMA Nari

政治的主体とは市民である。「政治」という語から想起されるものは、国家というシステムや政党、議会などが大半ではないだろうか。しかし、そういった「政治」とは、「法的市民社会」を作るもので、氷山の水面の上に出ている突起の山のように、一部分でしかない。その水面下では「倫理的市民社会」が全体の根底を支えている。cf) カント

人間は動物や機械とは異なり、思考し、公共空間に生きる社会的存在者である。この活動を政治的活動と考える。思考のプロセス及び公共空間における活動には、ことばが介在する。日本語教育はことばにかかわる教育をしている以上は、この「思考」と「公共性」に携わらなければいけないのではないだろうか。習得という範囲内に留まらず、その教育を通じた市民化＝政治化までを射程に入れられるのではないだろうか。以上のような「倫理的市民社会」を目指す日本語教育(ひろく言語教育全体)のあり方の妥当性・可能性について、共に検討したい(話題提供&話し合い)。

2019年9月28日(土)

16:00~18:00

入場無料・予約不要

早稲田大学早稲田キャンパス22号館502教室

